

# 回復期リハビリテーション病棟 実施状況

2026/5/7 現在

## I. 退棟患者数 (2026年 2月～4月)

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数

104 名

② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

104 名

③ ②の状態患者の内訳

回復期リハビリテーション病棟対象者区分		患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態、又は義肢装着訓練を要する状態	15	14.4%
1+	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	2	1.9%
2	大腿骨・骨盤・脊椎・股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	31	29.8%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	4	3.8%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	24	23.1%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	28	26.9%

## II. 実績指数 (前月までの6カ月間) 各年度 4月、7月、10月、1月に算出

④ 実績指数の計算対象とした患者数(名)

151

⑤ ④の患者の退棟時FIM※得点から入棟時FIM得点を控除した総和(点)

4188

⑥ ④の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリ病棟入院料の算定日数上限で除した総和

73.0

⑦ 実績指数 (⑤/⑥)

57.3

※FIM:機能的自立度評価法(Functional Independence Measure)の略称であり、日常生活動作の介助量を評価するための方法です。